

組合長就任のご挨拶



先人の築いた伝統と基盤を

守り続け次世代へ

胆振軽種馬農業協同組合
代表理事組合長 田中 芳郎

平素より当組合の事業運営にご指導ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私こと、この度胆振軽種馬農業協同組合代表理事組合長に選任され就任致しました。

今日の社会経済情勢はもとより軽種馬産業をとりまく環境も一段と厳しさを増しております。また、我々生産界にとって、これまでの十五年間は、正に激変の繰り返しでもありました。競馬の売り上げの減少に歯止めがかからず、全国にあった地方競馬は次々と廃止を発表し、地元ホッカイドウ競馬も例外ではなく、常にその危機に立たされて参りました。さらに、生産者にとって命綱とも言える北海道市場の売り上げは、一時期どん底にまで落ち込むなど、暗黒の時代が続きました。その間、長きに亘り、組合運営並びに生産界を牽引してこられた高橋前組合長の多くの功績を前に、いま自らに課せられた責務の重大さを痛感いたしておりますが、長い間一緒に支え合ってきた組合理事者と力を合わせ、目の前の課題に真摯に向き合いながら、与えられた役割をひとつひとつ精一杯果たして参る所存でございますので、皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当組合にとっての最重要課題は「次世代への転換」であると認識しております。後継者や担い手の問題は、胆振地区に限られたことではありませんが、最盛期187戸あった当組合員の戸数は、現在56戸と約4分の1近くにまで落ち込んでおります。

しかし、数少ない現在の若年世代には、バイタリティー溢れる若者が多く存在し、非常に頼もしく感じております。これまで先人たちが築いてこられた「胆振軽種馬生産の伝統」をしっかりと継承しながら、彼らと共に、今後の日本の馬産を盛り上げて参りたいと考えております。

軽種馬生産の世界は、夢のある世界です。その夢を現実のものとするため、微力ではありますが、新たな決意で軽種馬生産の発展に全力を尽くす所存でございます。

なにとぞ、前代表理事組合長同様格別のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。